

朴 珠 抄

能村研三推薦

螢袋うすむらさきは思慕の色
更衣われを過ぎゆくわが時間
朴の花文殊の言葉あふれしむ
緑雨かな丈余の幅の段葛
伸びすぎし罪の重さの髪洗ふ
偶数は円き顔立ちさくらんぼ
さつば舟竿いつぼんの涼しさよ
振花や話途切れて夜の黙
ばりばりとキャベツを喰つて死のはなし
はつなつの風は翼を持ちにけり
下闇を出ておのが影再生す
雲紋のはるけく美しく花菖蒲
滴りの時に和音や峠越え
二割方鎌倉濡らし青時雨
初螢一夜の沢を清くせり

七田 文子
菊地 光子
清水佑実子
平松うさぎ
荒井千佐代
峰崎 成規
細川 洋子
町山 公孝
村上 葉子
清水 陽子
川高郷之助
頓所 敏雄
兵藤 恵
松倉 聖子
須賀ゆかり